**大阪府入札監視等委員会 入札監視第２部会　平成28年度第１回定例会議　議事概要**

１　開催日時　　平成２８年６月３０日（木）　午後１時30分から午後４時15分

２　場所　　大阪赤十字会館　４階　４０１会議室

３　出席委員　　５名

４　審議対象期間　　平成２７年１２月１日から平成２８年３月３１日まで

５　会議の概要　　審議対象期間中の、入札方式別の発注案件の状況、入札参加停止措置等の状況、談合情報等の処理状況について事務局、担当課から内容の説明を求めた上で審議を行った。

また、大阪府が契約締結した建設工事（予定価格250万円を超えるもの）、測量・建設コンサルタント等業務（予定価格100万円を超えるもの）、委託役務業務（予定価格100万円（物件の借入れについては、80万円）を超えるもの）、物品購入（予定価格160万円を超えるもの）総契約件数320件の中から次の13件を委員が任意抽出し、事案ごとに担当の発注部局から入札・契約の過程及び内容の説明を求めた上で審議を行った。

 (抽出事案一覧)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 入札方式 | 案　　件　　名 | 契約金額(円) |
| 建設工事 | 一般競争 | 大阪府営吹田高野台第２期高層住宅（建て替え）新築衛生設備工事（第１工区） | 158,824,800 |
| 一般競争 | 大阪府営堺宮園第１期住宅（建て替え）中層耐火住宅撤去工事（第１工区） | 119,448,000 |
| 一般競争 | 大阪府立堺支援学校外１校昇降機設備改修工事 | 74,685,240 |
| 一般競争 | 大阪府立中之島図書館軒樋補修その他工事 | 42,228,000 |
| 一般競争 | 大阪府立成城高等学校実習棟実習室内部改修その他工事 | 29,340,360 |
| 一般競争 | 日本万国博覧会記念公園　茶畑改修工事 | 12,143,520 |
| 測量・建コン | 一般競争 | 大阪府営新千里北住宅耐震改修計画策定業務（その２） | 13,284,000 |
| 一般競争 | 信号機等交通安全施設設置等工事設計業務（第５５回） | 8,154,000  |
| 一般競争 | 大阪府営寝屋川三井住宅第１期外２件エレベーター棟増築工事実施設計業務 | 3,758,400 |
| 委託役務 | 一般競争 | 日本万国博覧会記念公園　使用料徴収事務及び来園者案内管理業務 | 399,502,800 |
| 一般競争 | 平成２８年経済センサス－活動調査周知のための広報業務 | 4,097,520 |
| 一般競争 | 自動車税クレジットカード指定代理納付業務（単価契約） | 1 |
| 物品購入 | 一般競争 | 会議用椅子ほか６８件の購入 | 8,596,800 |

６　審議の結果：　抽出した13件の処理状況は概ね適正であると認める。

７　委員からの質問とそれに対する回答：　別紙のとおり

（別紙）

| 質問 | 回答 |
| --- | --- |
| 【大阪府営吹田高野台第２期高層住宅（建て替え）新築衛生設備工事（第１工区）】 |  |
| 　失格者が多く、ランダム外の方が多かったとのことだが、要因をどのように考えているか。 | 落札率は８９．０４％だが、失格者の中でも８８％台の入札が１８者、８７％台が１０者で、失格者全体の６０％を占めており、最低制限価格を狙って応札したものの、ランダム範囲からわずかに外れての失格が多かったと考えている。 |
| 工事の積算が難しいということはなかったのか。 | 　府営住宅の新築工事で、各戸ごとに類似のパターンを繰り返す工事で、特に難しい内容を含んでいるとは考えていない。 |
| 　入札結果は会社名や金額も含めて公開されているのか。 | 　ホームページで公開している。 |
|  |  |
| 【大阪府営堺宮園第１期住宅（建て替え）中層耐火住宅撤去工事（第１工区）】 |  |
| 　失格者が多く、ランダム外の方が多かったとのことだが、要因をどのように考えているか。 | 　積算については全数量を公開しており、見積りを採用している項目もなく、個々の業者の積算の結果だと推測している。 |
| 　積算に関する情報をどこまで示しているのか。 | 　取り壊すコンクリートが何㎥、アスファルトが何㎥といった数量は全部公開している。 |
|  |  |
| 【大阪府立堺支援学校外１校昇降機設備改修工事】 |  |
| 　昇降機の改修ということだが、エレベーターのサイズによって受注できる会社がある程度決まってくるのか。エレベーターのサイズなどは入札情報として公開しているのか。 | 　既設の昇降機設備の改修なので昇降路のサイズは決まっており、そこに収まるエレベーターを製造しているメーカーが入札に参加してくるものと考えている。また、既設昇降路のサイズや詳細な寸法は全部発注図面に表示している。 |
| 　今回は４者申込で３者辞退しているが、辞退の理由としてどのようなことが考えられるか。 | 　辞退した理由については、本案件は金額も大きく、専任の技術者が必要になるが、それを確保できなかったのが要因と考えている。 |
| 　堺と刀根山支援学校の２か所発注しているが、昇降機設備の設置当初も同時期に同じ業者が設置したのか。 | 　当初は別々に設置しており、今回はたまたままとめて発注した。 |
|  |  |
| 【大阪府立中之島図書館軒樋補修その他工事】 |  |
| 　文化財の建物補修ということだが、もし業者が建物補修の過程で古文書などを破損した場合に対応するため保険に加入することを求めるといったことは契約条項に盛り込んでいるのか。 | 今回は外側部分(建物)の工事であるため、盛り込んでいない。 |
| 　辞退者が多かった理由としてどのようなことが考えられるのか。 | 国宝または重要文化財に指定されている建造物の工事実績が必要とわかり辞退したのではないかと考えている。 |
| 　過去に実績を持つ業者はどのくらいいるのか。 | 府内に１０数者いる。 |
|  |  |
| 【大阪府立成城高等学校実習棟実習室内部改修その他工事】 |  |
| 　辞退者が多い理由としてどのようなことが考えられるか。 | 工期内にテストや入学試験等学校行事があり、その時は工事ができないことや別に正門前環境整備などの工事も行っており、その業者と工事日程の調整が必要なために辞退したのではないかと考えている。 |
| 　別の工事である正門前環境整備とこの工事は参加資格も同じように思うが、分けて発注した理由は何か。 | 同じ敷地内ではあるが、施工場所が違うことやＤ等級の業者は多いので受注機会拡大の観点から分けて発注した。 |
| 　施工時期を夏休みにすることはできなかったのか。 | 全体のスケジュールの中でこの時期に施工せざるを得なかったものである。また、正門前整備工事は、成城高校が平成２８年度から特色のあるカリキュラムのスタートに先立って急遽施工することになったものである。 |
| 　 |  |
| 【日本万国博覧会記念公園　茶畑改修工事】 |  |
| 　９者の申込で４者辞退となっているが、工事の内容からするともっと多くの参加者が期待できるのではないか。 | 入札参加可能な業者は２５者以上いる。辞退者にヒアリングしたところ、他の案件を受注し新たに受注できなくなったや積算が間に合わなかったとの回答だった。他の業者も同じような状況だったのではないかと推察している。 |
|  |  |
| 【大阪府営新千里北住宅耐震改修計画策定業務（その２）】 |  |
| 　申込者６者のうち５者辞退しているのはなぜか。 | 　辞退者にヒアリングをしたところ、時期が11月であり他の業務を請け負っているところで本案件を受託しても履行できないと判断し、入札しなかったとのことであった。 |
| 　年度当初の発注であれば参加者は多くなるのか。 | 　過去に発注した案件では、年度当初は１５から２０者の参加申請があり、７～１３者の応札があった。 |
| 　取り抜け案件となっているので改善の必要があるのではないか。 | 　耐震改修については、ほぼすべての団地で進めており、残り１団地になっている。残る１団地については、年度当初に発注する予定としており、今回のようなことはないようにと考えている。 |
|  |  |
| 【信号機等交通安全施設設置等工事設計業務（第５５回）】 |  |
|  |  |
|  |  |
| 【大阪府営寝屋川三井住宅第１期外２件エレベーター棟増築工事実施設計業務】 |  |
| 　取り抜けの案件ごとの順番はどのように決めているのか。 | 　委託金額の大きい順としている。 |
|  |  |
| 【日本万国博覧会記念公園　使用料徴収事務及び来園者案内管理業務】 |  |
| 　落札率が９９．５５％と高くなっているのはどのような理由か。 | 　本案件は、人件費が事業費のほとんどを占め、仕様書においても業務ごとに標準の配置人員数を示している。これに一般に公表されている官公庁の労務単価を掛ければおおむね算出可能かと考えられ、結果的に高落札率で応札したのかと推測している。 |
| 　本業務は、通常どのくらいの人数で運営しているのか。 | 　常時５０名程度で運営している。大規模イベントの際は追加人員を配置している。 |
| 　落札者以外に入札する業者はいないのか。 | 　近隣府県を中心に年間利用者数１３０万人を超える有料施設では、大阪府、兵庫県だけでも現契約者を含め４者の民間企業が業務を受託していた。今回は地域要件もなしとしたので４者以上の入札を期待していた。 |
| 　業者が、本業務を新たに受注しようとすると、５０名以上の人を確保しなければならないと思うが、例えば業務を分割して少ない人数でも受注できるようにすることは可能か。 | 　本業務については、来園者の案内管理、使用料の徴収、施設利用の受付、駐車場の管理等が含まれており、多岐にわたるが　例えば、スポーツイベントの際は５～６万人来場する場合もあり危機管理の面でも連携が必要なことから、これらは密接不可分な業務と考えている。 |
|  |  |
| 【平成２８年経済センサス－活動調査周知のための広報業務】 |  |
| 　応札者が２者だが、応札者数を増やす方向で検討をしたのか。 | 応札者が少ないとは予期していなかったというのが実情。応札者が多い方が望ましいのでどのように対応していくかは今後の課題かと考えている。 |
|  |  |
| 【自動車税クレジットカード指定代理納付業務（単価契約）】 |  |
| 　今回は平成２８年４月１日から３年間の契約だが、本件は初めての案件なのか。 | 　今回は２回目の契約で、前回も３年間の契約をしている。 |
| 業者は同じだったか。 | 同じ業者と契約している。 |
|  |  |
| 【会議用椅子ほか６８件の購入】 |  |
| 　１者だけの入札だったということで、応札が少なかった理由はどのようなことが考えられるのか。 | 　入札参加名簿に登録の業者は３８０者ある。一般競争入札なのである程度参加が見込めるのではないかと思っていた。また、品物もカタログに掲載のあるようなもので特殊なものではない。 |
| 　購入点数が多いので入札の公告が早ければ事前に準備ができるのではないか。 | 　新しい施設であるのでレイアウトや家具、机等の配置もなかなか定まらないところがあり、実際に現場と協議して品物を確保したのがこの時期になったというのが実情である。 |
|  |  |